



「神は愛です」～聖書の言葉

バレンタインデーは愛のことを世界中でお祝いする日です。「愛」と言えば、最初に思い浮かぶことは多分ラブラブなカップルとかハート等でしょうけども、それは本当に愛の基本特性ですか？いつまでも変わらない、深い愛とは、どんなことを思い浮かべますか？それはただの熱い恋でしょうか？いいえ、本当に深い愛とはただ心地よい感情ではありません。この世を作られた神は、人、人が経験する愛、悲しみ、喜び等をよく知っておられます。このお方は「愛」についてどんなことを思っているのでしょうか？それは私たちが知るのでしょうか？はい。実は、世を創造した唯一神は、私たちにそれについて書かれたお手紙を送ってくださいました。それは、「聖書」または「神のことば」とよく呼ばれる、神が遣わした人々を通して書かれた本です。聖書には、何よりも大きな愛は何か、また神は人間に対してどんな感情を持っているのかを知ることができます。「人は自分の友人たちのために自分の命を投げ出すこと、誰もこれより大なる愛はない。」これは本当ですね。相手の命、安全と幸せを自分のよりも先にすることよりもっと大きな愛を持てません。こういう己を忘れる愛を受ける者はそれ以上感動できないと思います。それでは、神様は私たちに対して、どう思っていますか？また聖書によると、こう書かれています。「唯一神は自分の唯一もうけられた息子を与えるほどこの世を愛した。それはだれでも彼を信じる者がひとりも亡びないで、永遠のいのち